

第63回市民総合体育大会成績一覧表

平成26年8月24日

《 総合成績 》

順位	昨年順位	地区名	総合得点
優勝	4	旭北	245.0
準優勝	2	金目	211.5
第3位	7	旭南	203.5
第4位	1	花水	194.5
第5位	3	富士見	193.0
第6位	8	金田	191.0
第7位	12	四之宮	165.5
第8位	11	中原	161.5
第9位	10	真土	148.8
第10位	5	港	145.5
第11位	14	吉沢	145.3
第12位	9	岡崎	145.0
第13位	6	神田	144.5
第14位	15	横内	127.3
第15位	19	南原	126.5
第16位	13	城島	109.50
第17位	16	豊田	107.5
第18位	21	大神	104.5
第19位	24	八幡	99.75
第20位	17	松が丘	91.25
第21位	22	土屋	88.3
第22位	23	崇善	80.5
第23位	20	松原	80.0
第24位	18	なでしこ	75.5

敢闘賞

四之宮

《 団体戦成績 》

種 目	申込地区	参加地区	優 勝	準優勝	第 3 位	第 3 位
剣 道	18	17	金 田	金 目	旭 南	
射 撃	20	20	富 士 見	旭 北	金 目	
ソフトテニス	17	16	神 田	松 が 丘	旭 南	大 神
自 転 車	19	18	中 原	真 土	富 士 見	
バドミントン	22	22	岡 崎	金 目	南 原	花 水
卓 球	19	19	四 之 宮	横 内	金 目	中 原
陸 上 競 技	21	21	金 目	真 土	旭 北	
テ ニ ス	22	22	旭 南	金 目	金 田	崇 善
ゲートボール	21	21	四 之 宮	土 屋	旭 北	
ボウリング	A	22	21	旭 北	豊 田	旭 南
	B			金 目	四 之 宮	金 田
軟式野球	A	20	20	花 水	豊 田	
	B			吉 沢	大 神	
	C			真 土	八 幡	
バスケットボール 男 子	A	18	18	富 士 見	中 原	
	B			四 之 宮	大 神	
バスケットボール 女 子	A	16	16	四 之 宮	旭 北	
	B			花 水	港	
バレーボール 男 子	A	17	16	土 屋	吉 沢	
	B			金 田	旭 北	
バレーボール 女 子	A	21	20	旭 北	金 目	
	B			中 原	土 屋	
ソフトボール	A	22	22	松 原	城 島	
	B			金 目	旭 南	
サ ッ カ ー	A	21	21	旭 北	旭 南	
	B			南 原	金 田	

第63回市民総合体育大会視察コース

実施日	平成26年8月17日(日)
集合場所	総合体育館北側駐車場
集合時間	午前9時00分
解散予定時間	正午

総合体育館北側駐車場



桃浜町庭球場

(硬式テニス)



ひらつかサン・ライフアリーナ

(バスケット・サッカー)



田村軟式庭球場

(ソフトテニス)



大神スポーツ広場

(軟式野球・ソフトボール)



総合公園 各種目会場

自由見学

総合体育館・テニスコート
第1武道場・第2武道場・弓道場

(バレーボール・柔道・空手・弓道)
(硬式テニス)

※ 当日は、室内用上履きを御持参ください。

市民総合体育大会の種目に対する取扱い基準

1 目的

市民総合体育大会は、市民スポーツの祭典として歴史もあり、スポーツを通じた心身の育成や地域住民相互の親睦等を目的とし、もってスポーツの普及振興を図る事業として開催している。

競技種目については、地区体育振興会単位の対抗競技で得点を競う正式種目と得点対象とならない公開種目で実施しているが、地区対抗戦方式であることから正式種目として実施するための基準を設定し、公開種目との取り扱いを定めることとする。

2 基準

- (1) 地区体育振興会が24地区であることから正式種目の参加地区が半数（12地区）以下の状況が2カ年継続した場合、次年度は、公開種目として実施する。
- (2) 公開種目の競技について、地区体育振興会の半数を超える地区からの参加が認められる状況が2カ年継続し、次年度以降もその状況が見込まれ地区対抗戦として実施できる場合、次年度は、正式種目として実施する。
- (3) 継続する2カ年をこの基準を定めた当該年度と前年度から対象とするため、該当する種目がある場合、次年度に限り猶予期間とする。

3 その他

基準の変更や種目の実施内容等については、平塚市体育協会や該当種目協会及び平塚市体育振興連絡協議会と協議するとともに平塚市スポーツ推進審議会の意見を聴くものとする。

この基準は、平成26年1月30日から施行する。

市民総合体育大会の現状（参加団体実績）

（夏季：8月第3,4日曜日）

●正式種目（得点対象）

No.	種 目	参加団体数					会 場
		H22	H23	H24	H25	H26	
1	軟 式 野 球	23	20	20	20	20	大神スポーツ広場・平塚球場
2	バスケットボール 男	18	18	18	17	18	ひらつかサン・ライフアリーナ
3	バスケットボール 女	14	15	14	15	16	平塚総合体育館
4	バレーボール男子	17	15	17	15	16	平塚総合体育館
5	バレーボール女子	23	23	21	20	20	平塚総合体育館
6	剣 道	15	12	11	9	18	平塚総合体育館
7	ソフトボール	22	22	21	21	22	大神スポーツ広場
8	射 撃	18	18	19	20	20	大井射撃場
9	ボウリング	23	21	23	22	22	神奈中平塚ボウル
10	ソフトテニス	17	15	17	17	16	軟式庭球場
11	自 転 車	19	20	20	0（申込19）	18	平塚競輪場
12	バドミントン	21	20	21	20	22	ひらつかサン・ライフアリーナ
13	卓 球	23	22	22	22	19	平塚総合体育館
14	サ ッ カ ー	20	20	20	21	21	馬入サッカー場
15	陸 上 競 技 男	19	22 (147)	22 (152)	21 (149)	18 (104)	Shonan BMWスタジアム平塚
16	陸 上 競 技 女	16	18 (65)	17 (59)	16 (61)	13 (45)	
17	テ ニ ス	22	21	24	22	22	桃浜町庭球場・総合公園テニスコート
18	ゲートボール	23	22	22	21	21	平塚のはらっぱ

●公開種目（得点対象外）

No.	種 目	参加者数					会 場
		H22	H23	H24	H25	H26	
1	水 泳		延67	延75	延74	延61	平塚総合体育館プール
2	空 手 道		延87	延103	延98	延94	平塚総合体育館
3	弓 道	不明	不明	不明	不明	不明	平塚総合体育館
4	柔 道	不明	不明	不明	不明	不明	平塚総合体育館
5	剣道（個人戦）		62	63	50	79	平塚総合体育館
6	射撃（個人戦）	不明	不明	不明	不明	不明	平塚エアライフル射撃場

平成26年9月市議会定例会総括質問概要

《須藤量久議員(清風クラブ)》

2 「スポーツのまち平塚」の推進 (企画政策部長答弁)

(1) オリンピック・パラリンピックにむけて

○競技開催の誘致を検討しないのか

競技会場の誘致については、東京での開催が決まる過程で、競技会場等の計画を IOC に提出し、その計画に基づき視察やプレゼンテーションを経て東京に開催が決定した。

現在、本市には、選手が能力を最大限に発揮でき、かつ十分に観客を収容できるオリンピック会場にふさわしい施設はないと理解しており、仮に競技会場の誘致をするには、施設や設備の新設、改修等が必要になり、多額の費用も想定されること、さらに、東京オリンピックのコンセプトでありますコンパクトな開催の趣旨にも合致しないことから、競技会場の誘致を検討する考えはない。

○文部科学省が計画している2020年五輪への関心を高める取り組みの開催は、

文部科学省の平成27年度概算要求では、学校でのオリンピック・パラリンピックの理解促進や、市民参加型の国際交流事業等の開催、スポーツボランティア等の育成を図るとしている。今後、詳細が明確になった時点で前向きに検討する。

○戦略的にも市独自の誘致委員会を早く立ち上げるべきで

組織については、まずは、神奈川県を通しての取り組みの進捗や過去の誘致の実績を踏まえ、適切な時期に立ち上げたいと考える。

2002年の日韓ワールドカップでは、開催年の約2年前に誘致に関する組織を立ち上げており、現在の考えではありますが、事務レベルでの検討は進めていき、誘致委員会等の組織立ち上げは、早くても、2016年のリオデジャネイロでのオリンピックが終了した以降になるのではないかと考えている。

また、事前キャンプの誘致以外にも様々な分野でオリンピックに関連する取り組みが予測されることから、オリンピックの開催を契機に本市の魅力が発信できるよう、庁内関係課の連携を密にして取り組んでいく。

(2) 平塚市スポーツ推進計画から (社会教育部長答弁)

ア スポーツ指導者の発掘と活用

○スポーツ指導者の発掘や確保策についての具体策を伺う。

まず、競技スポーツを主に担う平塚市体育協会や、生涯スポーツを主に担う平塚レクリエーション連盟、平塚市スポーツ推進委員協議会をはじめとしたスポーツ関係団体、また、地区公民館等で活動するスポーツ団体などにも、指導者の登録、協力を働きかけ、スポーツ関係団体等との協議を重ね、スポーツ指導者登録制度の創設に向け

た検討を行っていききたい。

○スポーツ指導者の育成についてどのように進めるのか。

スポーツ指導者には、スポーツを安全に、正しく、楽しく指導することなどが望まれており、各種目の技術的な指導の他にも、安全確保や怪我の応急処置、栄養面、精神面や健康に対する知識などさまざまな資質が求められます。

今後は、スポーツ課が実施している「スポーツ指導者講習会」のほか、各種スポーツ団体や庁内関係課等が実施している講習会のスポーツ指導者への紹介や、スポーツ団体等と連携した事業の検討など、スポーツ指導者の資質や技術の向上を目指した育成を図っていききたい。

○スポーツ指導者が地域等で活躍できる場を提供することについて見解を伺う。

まずは、スポーツ指導者の発掘や確保を進め、登録された指導者の方々に、競技種目やレクリエーション、ニュースポーツなどさまざまな分野で活躍ができるよう、スポーツ関係団体などと協力し、幅広く周知するとともに、活用する仕組みも検討し、スポーツ指導者と地域等がつながることで、市民が身近にスポーツを楽しむ機会が増えるよう努めていく。

イ 自転車を活用したスポーツの推進

○湘南ベルマーレサイクルロードチームと連携したサイクルイベントの開催は、具体的にどのようなものなのか。

平塚競輪場を会場としたサイクルイベントとして、「湘南バイシクル・フェス」がNPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブの主催で、平成18年度から毎年実施している。

このイベントは、平塚市まちづくり財団や平塚青年会議所と協力し、趣向を凝らしながら、大変盛り上がりのあるイベントで、今後も更に充実した内容となるよう、サイクルロードチームや事業課、平塚市まちづくり財団等と連携を深め、自転車を活用したスポーツの推進に努めていききたい。

○「ツール・ド・HIRATSUKA」開催の検討について見解を伺う。

下関市で開催されている「ツール・ド・しものせき」では、「サイクルタウン下関構想」を基に、観光資源再発見やシティセールスの観点から、多くの下関ファンをつくることなどを目的として、平成18年度から今年で8回を数える。

このような全市挙げてのサイクルイベントの開催については、開催目的や交通規制などの諸課題、推進体制など、幅広い観点からの中期的な構想の検討も必要で、今後の提案と受け止めさせていただきたい。

穂積と江口が女子テニスで銅メダル、アジア大会

2014年10月01日 09:50 発信地: 仁川/韓国

WTA 日本人選手

ブログに転載 おすすめ 0

ツイート 11

X pinterest

X

X 本誌

Share on Tumblr



▲ キャプション表

示

×第17回アジア競技大会 (17th Asian Games、Asiad)、テニス女子シングルの表彰式に臨むクム・ルシカ (Kumkhum Luksika)、王薔 (Wang Qiang)、江口実沙 (Misa Eguchi)、穂積絵莉 (Eri Hozumi、2014年9月30日撮影)。(c)AFP/BAY ISMOYO

【メディア・報道関係・法人の方】写真購入のお問合せはこちら

【10月1日 AFP】第17回アジア競技大会 (17th Asian Games、Asiad) は30日、テニス女子シングルの表彰式が行われ、穂積絵莉 (Eri Hozumi) と江口実沙 (Misa Eguchi) が銅メダルを獲得した。

この日行われた決勝では、中国の王薔 (Wang Qiang) が6-3、7-6でシンガポールのクム・ルシカ (Kumkhum Luksika) に勝利し、金メダルに輝いている。(c)AFP

スポーツ 相撲 ボクシング 球技 冬スポ その他 写真 箱根駅伝 登山家・竹内洋岳

【柔道】王子谷、男子100キロ超級「金」右肩脱臼も悲願

2014年9月23日6時0分 スポーツ報知

「東海大学 柔道 王子谷」の記事をお探ですか？ 最新関連記事が10+件あります。

◆仁川アジア大会第4日 ▽柔道^{100kg}(22日)

男女計5階級が行われ、ことしの全日本選手権覇者の王子谷^{100kg}剛志(22)=東海大=は男子100キロ超級決勝で優勢勝ちして初優勝した。男子90キロ級で吉田優也(25)=旭化成=も決勝で優勢勝ち。日本は男女14階級で前回(同16階級)より2個少ない5個の金メダル獲得となった。女子78キロ超級の稲森奈見(20)=三井住友海上=は銀メダル。女子78キロ級の梅木真美(19)=環太平洋大=は1回戦で敗れた後の敗者復活戦と3位決定戦に勝ち、銅メダルを獲得した。23日は団体戦が行われる。

何よりも欲しかった結果だ。金メダルを胸にぶら下げた王子谷は、満面の笑みだった。「素直にうれしい。再来年のリオを狙っていきますので、よろしくお願いします」。国内のライバルに堂々の宣戦布告。高校、大学の先輩にあたる井上康生監督(36)も「候補の1人に拳がってくるのは間違いない」。副監督を務める東海大で教え子でもある重量級のホープの名前が、新たにリストに加わった。

初戦から2戦連続で、大外刈りで豪快に一本勝ち。決勝は2分20秒に背負い投げを返して有効を奪取した。4分過ぎに右肩が軽く脱臼するアクシデントもあったが、「自分で肩を入れました」。残りは堅実に時間を使い、タイムアップ。危なげない優勝だった。

「自分、不器用なんです」。ジャガイモの皮をむけば指を切り、ラップもうまく切れない。7歳で始めた柔道も覚えは遅く、「後からはじめて姉や弟よりも前回りも受け身は遅れていた。道場を泣きながら走っていました」と母・慶子さん(52)。だが、できるまで粘り強く繰り返すのが王子谷流。大外刈りは中学1年から練習を始め、「かかるようになったのは高校から」。その後も磨きをかけ、国際舞台で猛威をふるう必殺の矛となった。

8月の世界柔道^{100kg}100キロ超級で七戸龍(25)=九州電力=が銀メダルを獲得し「日本人でもやれると自信になると同時に、先を越された悔しさを感じた」。10年世界ジュニアを山下泰裕以来、34年ぶりに最重量級で優勝し、11年に連覇。今春の全日本選手権を制しシニアの壁も乗り越え、ついにアジアの頂に立った。「来年の世界選手権、優勝したいです」次なる目標にむけ、愚直につき進む。(塩谷 耕吾)

◆王子谷 剛志(おうじたに・たけし)1992年6月9日、大阪府生まれ。22歳。7歳でやまびこ少年柔道^{100kg}クラブで柔道^{100kg}を始め、東海大相撲中―東海大相撲高―東海大。2010年高校総体優勝、10、11年世界ジュニア連覇、14年全日本選手権優勝。右組み。得意技・大外刈り。血液型O。独身。186センチ、138キロ。

オリンピック・パラリンピックのための 神奈川県ビジョン2020

平成 26 年8月

神奈川県

ビジョン策定の目的

平成 25 年 9 月 7 日、2020 年（平成 32 年）オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地が東京に決定しました。

2020 年には、世界中から多くの人々が日本を訪れ、それとともに世界中からメディアがやってきて、日本の「いま」をレポートします。

その際に、神奈川の魅力を見て、感じて、さらに体験していただければ、国際的観光地としての、あるいは、先進産業の集積地としての神奈川のプレゼンスが高まり、2020 年以降も、持続的に経済のエンジンを回すことができます。

そこで、本県では、平成 25 年 10 月 4 日に「五輪のための神奈川ビジョン 2020 推進本部」を設置し、2020 年に向けて世界に発信していく神奈川の姿やオリンピック・パラリンピック東京大会に対する支援のあり方を検討してきました。

このビジョンは、2020 年に向けて神奈川県が取り組もうとする様々な施策の設計図です。今後、このビジョンが示す設計図をもとに、2020 年を目標にそれぞれの魅力づくりのための取組みを加速化していくとともに、「世界に誇れる神奈川の姿」をつくりあげて世界に向けて発信していきます。

また、神奈川県は、大会会場となる東京都心からのアクセスが良好で、空の玄関口となる東京国際空港（羽田空港）とも至近距離にあることから、隣接県として果たしていくべき役割があります。

そこで、このビジョンでは、大会をサポートしていくためのメニューを示し、今後、市町村や地域の方々と一体となって支援体制を構築するとともに、大会組織委員会や東京都などから支援の要請があった場合には、迅速に対応できるよう、準備します。

ビジョンの構成

このビジョンは 2 部構成としており、第 I 章では、2020 年に向けて世界に見せる神奈川モデルを、第 II 章では、神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組みを、それぞれ示します。

オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン 2020	
第 I 章 2020 年に向けて 世界に見せる神奈川モデル	第 II 章 神奈川からオリンピック・パラリンピックを 盛り上げていく取組み 1. 東京大会開催サポート 2. 観光戦略・魅力発信 3. スポーツ振興 4. 神奈川の人づくり

I 2020年に向けて世界に見せる神奈川モデル

世界の方々を迎えるにふさわしい、世界に誇れる神奈川モデルを海外に向けて発信します。

超高齢社会へ対応する神奈川をお見せします ～ヘルスケア・ニューフロンティア～

- ◇健康寿命世界一を生み出すライフスタイル —————
 - ・未病センターの全県展開
 - ・CHO構想で組織的健康管理
 - ・健康ポイントで健康インセンティブ
 - ・マイカルテによる健康管理
 - ・食・運動・社会参加で心身健康
- ◇世界最高水準の先端医療・最新技術 —————
 - ・再生・細胞医療の産業化・実用化
 - ・ICTを活用した個別化医療
 - ・国際的医療人材の養成
 - ・最先端の生活支援ロボット
 - ・高度専門医療を提供する県立病院
- ◇未病産業・未病を治すショーケース —————
 - ・神奈川発の未病産業の創出
 - ・県西地域 未病の戦略的エリア

新たなエネルギー体系に転換する神奈川をお見せします ～分散型エネルギーシステム～

- ◇自立したエネルギーシステム —————
 - ・薄膜太陽電池で太陽光のフル活用
 - ・水素エネルギーやガスコージェネレーション等の普及
 - ・EMSによるスマートな省エネ・節電
 - ・スマートコミュニティ
- ◇世界で最も進んだクリーンモビリティ社会 —————
 - ・EV等を集中導入したターミナル駅や観光地
 - ・EV等を積極的に導入した地域交通

ロボットと共生する神奈川をお見せします ～ロボットで支える県民のいのち～

- ◇最先端のロボットとの快適な暮らし —————
 - ・生活を支えるロボット（介護・医療ロボット・高齢者等への生活支援ロボット・災害対応ロボット）の実用化・関連産業の集積
 - ・最先端ロボットと触れ合えるロボットタウン
 - ・観光地でも活躍するロボット

おもてなしの心あふれる国際観光地・神奈川をお見せします ～多彩な国際観光スポット～

- ◇輝きを放ち続ける横浜・鎌倉・箱根
- ◇国際リゾート 城ヶ島・三崎！/体感！悠久の歴史・安らぎの霊峰 大山/国際観光保養地 大磯！
- ◇森・川・海と連なる「水のさと かながわ」の魅力 —————
 - ・森・川・海の美しい景観
 - ・緑のダム・水源環境保全
 - ・かながわシープロジェクト
- ◇快適な旅行環境 —————
 - ・主要観光地でのFree Wi-Fi
- ◇誰もが楽しめるマグネットカルチャー —————
 - ・かながわプロードウェイ

安全・安心な神奈川をお見せします ～地震・津波対策と治安対策～

- ◇地震・津波への対策 —————
 - ・被害想定を踏まえたきめ細やかな津波対策
 - ・かながわシェイクアウト・ビッグレスキューで地震対策
 - ・耐震化された大規模建築物等
- ◇誰もが安心できる環境・治安 —————
 - ・主要駅へのホームドア設置
 - ・風しん撲滅作戦で安心なかながわ
 - ・親切で心強い交番
 - ・高度な治安インフラ

超高齢社会へ対応する神奈川をお見せします ～ヘルスケア・ニューフロンティア～

超高齢社会を乗り越えるフロントランナーとして、「最先端医療・最新技術の追求」と「未病を治す」という2つのアプローチを融合させたヘルスケア・ニューフロンティアの推進により、国家戦略特区等を活用しながら、健康寿命日本一の神奈川、新たな市場・産業を創出する神奈川をお見せします。

健康寿命世界一を生み出すライフスタイル

さまざまな取組みで県民の健康ライフスタイルを支えている仕組みをお見せします。

未病センターの全県展開

身近なところで「食」「運動」「社会参加」に取り組める未病センター

CHO 構想で組織的健康管理

企業等の CHO(健康管理最高責任者)が従業員の健康をマネジメントする組織的健康管理の仕組み

健康ポイントで健康インセンティブ

健康活動を行うと付与されるポイントで特典が受けられる健康ポイント制度

マイカルテによる健康管理

個人が自らの医療・健康情報を携帯電話等で管理・活用できるマイカルテ

食・運動・社会参加で心身健康

生活習慣病や要介護状態を未然に防ぐための3つの取組み

世界最高水準の先端医療・最新技術

再生・細胞医療や生活支援ロボットなど最先端医療・最新技術をお見せします。

再生・細胞医療の産業化・実用化

ライフイノベーションセンター(仮称)を拠点とした再生・細胞医療の産業化・実用化

ICTを活用した個別化医療

ビッグデータ化された健康情報等の解析による一人一人に適合した個別化医療

国際的医療人材の養成

医療分野におけるイノベーションを担う人材を養成する国際的医療人材養成機関

最先端の生活支援ロボット

生活を支える「介護・医療ロボット、高齢者等への生活支援ロボット、災害対応ロボット」

高度専門医療を提供する県立病院

がんセンター内のがんワクチンセンター、漢方サポートセンターがオープン(2014年度)／がんセンターでi-ROCK(重粒子線治療)スタート(2015年度)／神奈川リハビリテーション病院で新棟オープン(2016年度)

未病産業・未病を治すショーケース

未病を治す具体的な取組みをお見せします。

神奈川発の未病産業の創出

超高齢社会において成長産業となり得る、神奈川発の「未病産業」という新たな産業の創出

県西地域 未病の戦略的エリア

豊かな自然や温泉など多彩な地域の魅力を生かした「未病を治す」取組みの実践

新たなエネルギー体系に転換する神奈川をお見せします ～分散型エネルギーシステム～

将来にわたり安全で安心して利用することができる再生可能エネルギー等を積極的に導入し、スマートに利用している神奈川をお見せします。

自立したエネルギーシステム

地域において自立したエネルギーの需給調整を図る分散型エネルギーシステムをお見せします。

薄膜太陽電池で太陽光のフル活用

多様な用途が広がる薄膜太陽電池のショーウィンドウ化
(ビルの壁面、道路の法面、自動車・電車の車体等)

水素エネルギーやガスコージェネレーション等の普及

高効率で出力が安定した燃料電池やガスコージェネレーション等の分散型電源の普及

EMSによるスマートな省エネ・節電

ICTを活用したスマートな省エネ・節電が可能となるエネルギー・マネジメント・システム

スマートコミュニティ

地域でエネルギーを作りながら賢く使い、エネルギーの需給を統合管理する新たな社会システム

世界で最も進んだクリーンモビリティ社会

CO₂を排出しない燃料電池自動車や電気自動車が普及した世界最先端のクリーンモビリティ社会をお見せします。

EV等を集中導入したターミナル駅や観光地

多様な用途で利用されるクリーンモビリティのショーウィンドウ化
(リムジンバス、タクシー、路線バス、超小型EV、電動アシストサイクル等)

EV等を積極的に導入した地域交通

インフラ整備と併せてEV等を導入した地域の公共交通機関(バス、タクシー)(災害時は非常用電源として活用)

ロボットと共生する神奈川をお見せします ～ロボットで支える県民のいのち～

県内で生産された最先端の生活支援ロボットと共生する神奈川をお見せします。

最先端ロボットとの快適な暮らし

介護・医療ロボット、高齢者等への生活支援ロボット、災害対応ロボットが支える安全・安心な暮らしをお見せします。

生活を支える最先端ロボットの実用化・関連産業の集積

実用化された介護・医療ロボット、高齢者等への生活支援ロボット、災害対応ロボット

最先端ロボットと触れ合えるロボットタウン

最先端の生活支援ロボットと直接触れ合えるロボットタウン

観光地でも活躍するロボット

坂道での移動をお手伝いするなど、観光客をサポートする最先端ロボット

おもてなしの心あふれる国際観光地・神奈川をお見せします ～多彩な国際観光スポット～

魅力にあふれ、快適な旅行環境が整った国際観光地・神奈川を外国からのお客様に真心を込めてお見せします。

輝きを放ち続ける横浜・鎌倉・箱根

年間約 4,000 万の人々が訪れる横浜と、それぞれ約 2,000 万の人が訪れる鎌倉・箱根の輝きを放ち続ける姿をお見せします。

国際リゾート 城ヶ島・三崎！／体感！悠久の歴史・安らぎの霊峰 大山／国際観光保養地 大磯！

地元一体で地域の魅力を提供する城ヶ島・三崎（三浦市）、大山（伊勢原市・秦野市・厚木市）、大磯（大磯町）が、かながわの第4の国際観光地としてにぎわう姿をお見せします。

森・川・海と連なる「水のさと かながわ」の魅力

狭い県土の中に森・川・海が連なり、水が生み出す魅力が各地域にあふれている「水のさと かながわ」の姿をお見せします。

森・川・海の美しい景観

緑織りなす美しい自然と、湖や川、滝、湧水など海まで連なる豊かな水に恵まれた美しい景観

緑のダム・水源環境保全

雨を地下水として貯える緑のダム／安心して美味しい水が飲めるよう良質な水を守る仕組み

かながわシープロジェクト

マリンスポーツなどで賑わう神奈川の海

快適な旅行環境

必要な情報にストレスフリーでアクセスできる快適な旅行環境をお見せします。

主要観光地での Free Wi-Fi

市町村や民間事業者等と連携した主要観光地での Free Wi-Fi 環境

誰もが楽しめるマグネットカルチャー

オリジナルで多彩な魅力あるカルチャーをお見せします。

かながわブロードウェイ

かながわオリジナルで多彩な魅力あるカルチャー

安全・安心な神奈川をお見せします ～地震・津波対策と治安対策～

地震・津波対策や高度な治安対策により、県民も観光客も安心して過ごせる世界に誇れる安全な神奈川をお見せします。

地震・津波への対策

美しい海岸線と県民の安全を両立させた神奈川ならではの地震・津波対策をお見せします。

被害想定を踏まえたきめ細やかな津波対策

最大クラスの地震や津波を勘案した被害想定を踏まえたわかり易い津波情報看板、津波避難タワーなどの避難施設、津波の際に避難を促すオレンジフラッグ

かながわシェイクアウト・ビッグレスキューで地震対策

県民が、それぞれの場所で一斉に安全確保行動を行う防災訓練「かながわシェイクアウト」/自衛隊や在日米軍と他の医療機関が連携する救急医療を主体とした総合防災訓練「ビッグレスキューかながわ」

耐震化された大規模建築物等

国や市町村と協力して耐震化された不特定多数が利用する大規模建築物

誰もが安心できる環境・治安

県民の暮らしも観光客の旅路も守る環境や治安の取組みをお見せします。

主要駅へのホームドア設置

鉄道事業者や国、市等と協力して転落防止対策が施された安全なホーム

風しん撲滅作戦で安心なかながわ

撲滅作戦により風しんが流行しない安心なかながわ

親切で心強い交番

県民と観光客の安全を守る交番・駐在所等

高度な治安インフラ

防犯カメラなどの高度な治安対策が施された安全なまち

2020年の神奈川を支える交通網の整備

<道路>

- ・さがみ縦貫道路全線開通（2014年度）
- ・高速横浜環状北線全線開通（2016年度）
- ・綾瀬スマートインターチェンジ供用開始（2017年度）
- ・新東名高速道路全線開通（2020年度）
- ・横浜環状南線・横浜湘南道路など、自動車専用道路網の整備促進
- ・インターチェンジ接続道路の供用開始
- ・南足柄市と箱根町を連絡する道路（2020年を目指す）など、地域の交流・連携を支える幹線道路網の整備推進
- ・スマートIC（秦野、山北、厚木、横須賀）の設置に向けた取組み
- ・広域農道小田原湯河原線

<鉄道>

- ・神奈川東部方面線開通（2019年度）
- ・JR東海道本線 新駅設置（大船駅－藤沢駅間）に向けた取組み
- ・東海道新幹線 新駅設置（ツインシティ）に向けた取組み
- ・相鉄いずみ野線のツインシティ方面への延伸に向けた取組み
- ・リニア中央新幹線の建設促進に向けた取組み

II 神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組み ～ 東京大会開催サポート ～

目 標

- 2020年までに
2020年東京大会の運営をサポートする様々な取組みを通じて、スポーツと国際交流に根ざした地域振興と地域の知名度向上を図ります。
- そのために
大会関係者との緊密な情報連携を図りながら、地域の市町村や関係団体と一体となった取組みを展開します。

取組みの柱

① オリンピック等の事前キャンプ誘致

- ◇ 世界の一流アスリートに神奈川の魅力を知ってもらい、県民と交流してもらうため、各国の事前キャンプを市町村とともに誘致します。
- ◇ 2020年東京大会に向けて県民の機運を高めていくため、2020年東京大会に先立って、国際的競技大会の事前キャンプを市町村とともに誘致します。

② ナショナルトレーニングセンターの誘致

- ◇ 拡充が予定されているナショナルトレーニングセンターの誘致に向けて、横須賀市とともに関係機関への働きかけを行います。

③ パラリンピックの振興

- ◇ 持てる身体機能を最大限に生かしているパラリンピアンメッセージを広く発信し、誰もがスポーツを通じた健康づくりに親しむ土壌づくりを進め、パラリンピック競技の魅力を高めます。
- ◇ ジャパンパラ競技大会等やパラリンピック競技の事前キャンプを市町村とともに誘致し、県民に実際の競技を観戦する機会をつくり、パラリンピックへの県民の関心を高めます。
- ◇ パラリンピック競技の練習拠点の誘致に向けて、関係機関への働きかけを行うとともに、パラリンピアン等が練習しやすい環境づくりを推進します。

④ 大会ボランティアの育成

- ◇ 2020年東京大会の関係機関からの様々なボランティアの派遣要請にいつでも応えることができるよう、ボランティア団体と連携して派遣体制をつくります。
- ◇ 事前キャンプ地等できめ細かなおもてなしができるよう、競技種目やその国の文化を理解し各国の選手や関係者と円滑なコミュニケーションがとれるボランティアなど、実践的なボランティアを育成します。

⑤ 安全・安心の確保に向けた治安対策の基盤整備

- ◇ 2020年東京大会に向けて、本県を訪れる各国の選手や関係者、国内外からの旅行者の安全・安心を確保するため、治安対策の基盤整備を行います。

Ⅱ 神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組み

～ 観光戦略・魅力発信 ～

目 標

- 2020年までに
世界が目を向ける神奈川の魅力を一ち早く発信し、多くの外国人旅行者を神奈川県に呼び込みます。
- そのために
地域の魅力を磨き上げるとともに、外国人旅行者が安心して快適に過ごすことができる神奈川的环境づくりに取り組みます。

取組みの柱

① 神奈川ならではの観光魅力の創出

- ◇ 国の訪日プロモーション方針「ディスカバー スピリット オブ ジャパン」に連動して、外国人の視点を意識した「神奈川で体験できる日本の魅力」を商品開発するなど、神奈川の観光魅力を向上させます。
- ◇ 横浜・鎌倉・箱根に続く第4の国際観光地を目指す「新たな観光の核づくり構想」地域のほか、県内各地域の魅力を発信します。
- ◇ 外国人による観光消費を視野に入れた神奈川産品を磨き上げます。

② ニーズや好みに応じたプロモーション

- ◇ 国や地域による多様なニーズに応じた情報発信ができるように、インターネットを活用するほか、海外での観光展へ出展することなどを通じて、神奈川の魅力アピールします。
- ◇ 来日した五輪関係者（事前キャンプ等を含む）へのプロモーションの展開を図ります。
- ◇ 「和食」がユネスコの無形文化遺産へ登録されたのを機に、神奈川の食材や、それらを使用した「食」、特に「和食」、「郷土食」を提供する店・人など、神奈川の食全体の魅力を海外にPRします。

③ 手に入れやすい観光情報の提供

- ◇ 急増する個人旅行者やリピーターが気軽に観光を楽しむことができるように、観光情報や交通手段などの多言語情報を発信します。
- ◇ 羽田空港の観光案内所をはじめとした都内の主要なアクセスポイントの機能を充実させます。

④ 快適な旅の提供

- ◇ 県内の主要観光地及び商店街でWi-Fi環境の拡充を図り、Wi-Fi環境を使った情報（観光情報、災害に関する情報）を提供します。
- ◇ 観光案内表示の多言語化を進めます。
- ◇ 県内の観光関係者を対象としたセミナーの開催などにより、「おもてなし力」の向上を図ります。

Ⅱ 神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組み ～ スポーツ振興 ～

目 標

- 2020年までに
県内アスリートを育成するとともに、県民の誰もが、スポーツや健康づくりを実践し、心身ともに健康で豊かな生活ができる「生涯スポーツ社会」を実現します。
- そのために
スポーツ選手の育成、スポーツ環境の整備、県民のスポーツ活動への参画などスポーツの振興につながる取組みを展開します。

取組みの柱

① **スポーツ選手の育成**

- ◇ 2020年の東京大会で「神奈川ゆかりの選手」として活躍が見込まれる県内の中・高校生の有望選手をターゲットに、競技力の向上を図ります。
- ◇ 県立体育センターをはじめとした県立スポーツ施設を県内アスリート育成のためのトレーニングセンターとして活用するなど、県内の大学や関係団体等とも連携しながら県内競技者等の活動を支援します。

② **「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画社会の実現**

- ◇ 県民の誰もが豊かなスポーツライフを送ることができるよう、スポーツ推進条例を制定します。
- ◇ 県民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動に参画できるよう、総合型地域スポーツクラブ設立・運営の支援を強化します。
- ◇ スポーツを支えることのできるスポーツボランティアを、市町村や総合型地域スポーツクラブと連携して育成します。
- ◇ 「健康ポイント」などを導入し、楽しみながら運動に取り組める環境をつくります。
- ◇ 3033運動やラジオ体操などのより一層の普及・啓発を図り、多くの県民がそれぞれのライフスタイルに応じた運動・スポーツを実践することで、健康寿命の延伸を目指します。

③ **障害者・高齢者スポーツの推進**

- ◇ 障害のある人もない人も身近でスポーツに親しめる環境づくりを推進します。
- ◇ 障害者スポーツ指導者の育成や、練習環境の充実に向けたスポーツ施設への働きかけを行います。
- ◇ 高齢の方が身近で取り組めるスポーツ・健康づくりを推進します。
- ◇ 2021年に本県で開催される全国健康福祉祭（ねんりんピック）に向けて、取組みを進めます。

Ⅱ 神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組み ～ 神奈川の人づくり～

目 標

- 2020年までに
オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、県民の誰もが国際感覚を持ち、健康でいきいきと暮らせる地域社会をつくります。
- そのために
市町村や地域のコミュニティと一体となって、グローバルな感覚を持ち、行動できる人づくりのための取組みを推進します。

取組みの柱

① 市町村・地域と一体となった地域社会づくり

- ◇ オリンピック・パラリンピックを市町村や地域と一体となって盛り上げていくために、自治会や老人クラブなどにおいて、出前講座などを通じて、外国語によるコミュニケーションやエクササイズなどの活動を積極的に展開します。
- ◇ 共に助け合い、いきいきと暮らせる地域社会づくりを進めるため、地域コミュニティなどを通じた社会参加活動を推進します。
- ◇ 誰もが国籍を問わず個人として尊重される地域社会づくりを進めるため、人権意識の啓発に取り組みます。
- ◇ 障害者や高齢者など配慮を必要とする方々にやさしい地域づくりを進めるため、バリアフリーのまちづくりに向けた普及啓発に取り組みます。

② グローバルな視野を持つ人づくり

- ◇ 国際言語文化アカデミアにおいて国際理解のための講座や教員に対する専門研修を実施し、次世代を担う子ども・若者の異文化理解やコミュニケーション能力の向上を図ります。
- ◇ かながわ国際ファンクラブにおける留学生への支援や外国人留学生との交流の場などを通じて、グローバル人材の育成や神奈川と他国を結ぶネットワークの拡大を図ります。
- ◇ 外国籍の方でも安心して旅行や生活ができるよう、医療通訳や災害時の情報提供の体制づくりに寄与する人材を育成します。